

事業所名

ほのぼの学級

支援プログラム

作成日

8年

4月

1日

事業所理念	幼児からの自立に向けての療育 ・エンパワメントを育む ・家庭との連携		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・エンパワメントを育みます。具体的には3つの心(安心の心、自信の心、自由の心)を育てていきます。 ・保護者の皆さんと同じ立場で考えあい学びあうことを連携の基本と位置付けています。 ・子どもさんの体調把握に努め「健康」の確認の下、療育を行います。 		
営業時間	9時00分から	15時00分まで	送迎実施の有無 あり なし <u>送迎が可能な日があります</u>
支 援 内 容			
本人支援	基本的考え方	子どもさんの特性理解を優先します。子どもさんの強みを活かして苦手さを補う療育支援を行います。	
	コミュニケーション	子どもさんの些細な発信(表情、身体の動き、発声等)を見逃さないようアセスメントを行い、しっかり対応することでコミュニケーション意欲を高めます。またAAC(拡大・代替コミュニケーション)の活用により誰にでも伝わるコミュニケーション手段の獲得を目指します。	
	運動・感覚	PT(理学療法士)が日常生活や遊びを通して運動面にアプローチを行ってまいります。また子どもさんの状態に合わせて活動しやすい姿勢づくりや補装具を使用することで様々な活動参加を促してまいります。子どもさんの好む感覚刺激での遊びを提供し、好きな活動を増やしていきます。	
	認知・行動	療育の中で物理的構造化を行い分かりやすい環境づくりに努めることで、子どもさんが活動に期待を持ったり意欲的に参加ができたりするよう支援を行ってまいります。	
	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを最優先します。また医療的ケアや基礎疾患のある子どもさんに対しては保護者の方や医療機関と連携しながら細やかな体調管理を行ってまいります。	
	人間関係 社会性	遊び等を通じたかかわりを持つ中で、大人との信頼関係を形成し安心して過ごすことができる場所を提供するとともにコミュニケーション能力を育みます。また大人とのかかわりだけでなく子どもさん同士や集団での活動へと関係性を広げていきます。	
家族との連携	勉強会やクラス懇談会を実施し、ご家族に特性やかかわり方に関する情報を提供します。また日々の連絡ノートや個別懇談等でご家族との連携を図ります。	移行支援	移行支援のベースとなるセルフエスティームを育みます。また子どもさんの状況に応じてソーシャルスキルトレーニングを実施します。併行利用している子どもさんは保育所等との連携を行います。
地域支援・地域連携	卒園前に保護者と一緒にサポートブックを作成します。それをもとに卒園児に就学先の学校や放デイとの引継を行います。保健センターや子ども家庭センター等の関係機関と連携を図っていきます。	職員の質の向上	施設内研修や外部研修会への参加を行っています。また児童発達支援管理責任者によるOJTを実施しています。
主な行事等	クラス懇談会、全体懇談会(保護者勉強会)、入園式、運動会、遠足、クリスマス会、卒園式、誕生会(月1回)、個別懇談(月1回)、療育参加		